子どもたちの居場所づくりに取り組んだ人々や現場の声を聴きました



4 保護者

河江小学校学童スポーツクラブ(総合運動) 保護者 和田 由希子 さん(38)

運動が苦手な子どもが、「楽しい」と話します

小学4年生の息子は、もともと運動が得意ではありませんでした。仲良しの友達から楽しいよと勧められ、好奇心で学童スポーツクラブに加入してみることに。

河江のクラブにはドッジボールや

マット運動、ヨガなどの多彩なスポーツがあり、息子は習ったことを家でも実践しています。運動に消極的だったわが子がクラブが楽しいと話し、自信にもなっているのはうれしいです。

5 指導者

豊川 F.C.(サッカー) 指導者 作本 貴典 さん(48) 松里 光洋 さん(45) 千葉﨑 真行 さん(40) 田中 太陽 さん(28)

携わったスポーツを 「嫌い」と思わせたくない

豊川小の子どもたちの運動する機会をなくしたくないという思いで始めました。子どもたちにサッカーを楽しませることを意識しながら、指導しています。私たち指導者は、子どもたちのかがみでいなければなりません。「~しなさ



い」と指導者の考えを押し付けず、子どもたちが自分で感じたことから選択肢を増やしていくことが大事だと思っています。携わったスポーツなどを子どもたちが「嫌い」と思わないように指導していきたいですね。

子どもたちが夢を抱く場所を守道を模索する学童スポーツクラブ。さまざまな課題を抱えて新たない苦しい状況もある。

しかし、指導者の確保ができないなどの理由で、学童スポーツクいなどの理由で、学童スポーツクいなどの理由で、学童スポーツクいなどの理由で、学童スポーツクいなどの理由で、学童スポーツクいなどの運由で、学童スポーツクいなど、運動をさせたくてもできない。また、

う保護者たちの強い思いが集結立場では、では保護者による運営。子どもが輝く場所を奪いたくないとないっても、そのほとなまざまな形のの保護者たちの強い思いが集結では、

子どもたちの未来のために

1 学校

宇城市校長会 会長 豊福小学校 池上 秀昭 校長(59)

スムーズな運営に向けて

学童スポーツクラブ設立の一番のメリットは、部活動と同じように児童が放課後、自分たちの学校で活動できることです。豊福小では、野球、ミニバスケット、ハンドボールの3クラブが設立され



ました。放課後になると地域の方や保護者の指導の下、練習に励む児童の姿が見られます。学校では、クラブと連絡調整をする担当者を配置し、スムーズな運営ができるようにしています。

バスケ部だった子どもが「バドミントンをやりたい」と話したのが設立のきっかけです。地元の大人のチームに混ざって活動させてもらうと、口コミで地域の子どもたちが増加。指導者や保護者の協

2 クラブ運営者(新規)

青海学童バドミントンクラブ 代表 積 眞理恵 さん(42)

大人も一緒に体を動かす

力を受けてクラブを作り、今では青海小の22人が加入しています。私たち大人も一緒に体を動かせるのがいいですね。子どもにはスポーツを通していざというときに踏ん張る力を身に付けてほしいです。

3 クラブ運営者(部活動から継続)

豊野クラブ(軟式野球) 代表 押方 謙二 さん(42)



毎月、やることは多いです

毎年6年生の保護者が部活動の後援会長をしており、その延長のつもりで、子どもが6年生になったときにクラブの運営を引き受けました。それまでは先生がしていた活動計画の作成やスケジュールの調整など、毎月やることが多く苦戦していますが、野球を通して、子どもの成長を感じることができて大変うれしく思っています。子どもたちも仲が良く、いつも楽しく野球をしているので、大好きな野球を続けて行えるようにサポートしたいです。